



中村俊定文庫
文庫 18
547



阿字栗菴のけ集を撰ふ日
しるの痛、新りり申より
芝中、下、た、ふ、そ、れ、を
奉乃姑とふ、く、丹、旅、の、り、を、き
せりの想とふ、り、を、空、方、尔
撰、さ、た、し、一、集、を、昭、る、を、し、る、を、

游五老井一の字一段法中一の
しめすまの心な別まの
中一の心よ一しき一の強よま小
高まよ少一し一む

山女永八七亥春三月

萩魚大



春興

三章

柳多家子

前乃根とあひあけらるる解かか
西之入るるの部やかか
下唄入るる小かあふるる供也り

歳旦

恙水や家も公乃五十餘川

東都 卮言

けさ乃去ちりふきし庭の光か

下道寺 河舟

ゆきくらの公のむしりふり春

長沼 松堂

系ゆし録しゆきし下馬の松

堺下 由水

きししき様もくまひまのくる

東都 蓼太

海面下きつし舟乃かり傍

武園部 鉤月

文木しんき小なるちさか

箱岡 笑泉

くゆくひまのつまふあけのころ

伊也 櫻良

きのふありしころ正月二日

太田 眠石

宮守のふ板な目もりしころ春

信ノスリ 自徳

おぼやいと向ひりされれ波

堺甲 専車

くわ春に掌はし記子もほいん

尾陽 暁臺

万歳

万の年の角ふ吹れくまらかふ

武園部 蘭之

すんちやう報たいてしゆいし

七文堂 眉山

似りしやまは秋の小力武本庄 李明

夕川やちあはる信ノ上田 腫細 雲帯

猿引 鳥追

猿川の川沿かす一 小り いき 堀ノ萩ウラ 香同

すゝまや遠く ちき の上イセオキ 芦堂

粗川のゆまは せき 丸木 檜上榎木 竹魚

是日やち遠く ちき の上イセオキ 鏡石

若菜

ナツナ

執りの下武園部 ちき の菜桐 の花圭 哉

若菜甲川 本葛 ちき の花履 哉

祝堀ノ の花魯 哉 代文 の魯 哉

芥

ミツ葉

ゆり東都 の花魚 哉 婦祥 の花魚 哉

河内川や去青の岸の雪がよ 佐列 買遠

古ねまの根よりうも少の浮守宮 武周部 具鉤

岸のまのやに川ののちま魚 全永野 宜篤

極片や竹梅をりる裏戸 イセナキ 龜遊

細草や日陰山道の橋へ川系、 蘭舎

陸月 箱川 雨村

正月や小海をこほる遠ひ柳 甲列 雲波

正月や白鳥の已而極木葉 甲列 雲波

正月もまたたけりいゝのぼと 東都 百明

春雪

春もしいまふふふき田も 加陽 半化

淡雪小葉のまふふいふふ 吉井 園李

たしゆるやのころひが雨存のま 吉井 柏葉

餘寒

空をる水やこまきふみ地うふ 吉井 ト全

春いづこニ川系雪のま 吉井 其釣

目もろともをすし 寝るの月の形 行脚 一翁

焚鳥

匍匐をくくしす 夢人海芽原 武園部 蘭上

学をきむまじきまの乃 懐あり 長ヌマ 専車

くひすたて一まより小枝より 下仁田 盈川

鳥乃春や告ふ可し 亦山人 多比良 粟淵

くしい夢の一日を ぬか 萩かゝ 堺 破上

鶯小ふさき 院やし 院 院川 文睡

まのちや 小い世小石 竹 大 馬川

うらひいし 竹をゆし 椽のえ 下ノ宮 江水

魚子 一し さらや 小 進 之 糸 アニキヤ 宇大

ゆた くるま じ 鳥止の ね 凸 さま ち 申 大マ 文江

朝風 や 雲の 鶯の 啼 かし たら イセリキ 龍尾

蒸工立

ワカ草

夕、之や けくし 雲 吹 け 群 居 也 暁 臺

山名 磨る水 小苔 三月 茶 大 水
若子 や 共 扇 かく けり する どの 是
大田 沛 千
岩 ころ の 日 浪 せ ぎ の こ ころ か 河 舟

東風

東風 小い とも とも 波 舟 海 の つる 似 鳩
こころ 空 や 小 流 子 漲 舟 ぐ 凡 車 一
大ハラ 音 箱
東 風 ぶ ぐ び 春 の く せ なる 船 是 ぞ
イセオキ 祇 帖

梅

咲 ころ 梅 と 凡 入 日 お ころ 蓼 多 太
梅 ころ 暮 や 日 とも 向 なる 班 徒 法師 塩 車
カノ 間
お ころ せ たり ぬ なる 情 や し 野 崎 の 梅 百 龍
竜 舞 一
行 里 や 梅 咲 め ころ の 花 瘡 柳 驕 兔
イセオキ
月 子 悲 し お の 白 梅 子 あり 人 雨 村
シラ 次
梅 ころ 中 咲 けり 一 葉 葉 の 花 なる なら 一 牝
濱 丁 下 ち ち ち ち ち ち 一 音 宜 篤
梅 ころ や 凡 の中 の 春 の 凡 思 可
信 岩 村 田

袴^大はくしてうきあるれ乃^大房り哉
 梅^大うきよふき紐^大くみせあり危
 黄^大氏^大也^大燦^大の^大中^大の^大うきを^大白^大し
 元^大は^大た^大先^大て^大ま^大る^大の^大せ^大ん^大梅^大の^大茶^大
 顔^大も^大して^大病^大る^大お^大き^大り^大ぬ^大む^大あ^大の^大ま^大し
 朝^大ひ^大や^大斬^大の^大糸^大あ^大梅^大は^大く^大
 う^大きの^大女^大名^大ま^大は^大ら^大苦^大き^大い^大白^大か
 梅^大う^大き^大や^大い^大ふ^大れ^大る^大糸^大の^大ま^大し
 青牛
 半化
 蘭之
 紫柙
 厄言
 河舟
 標良

乃^大本^大梅^大枝^大少^大り^大も^大ま^大く^大ま^大る^大は^大し
 う^大き^大の^大ま^大は^大り^大の^大糸^大乃^大客^大つ^大う^大し
 海^大う^大お^大き^大ま^大日^大生^大の^大ふ^大梅^大白^大い^大け^大り
 関^大の^大う^大は^大め^大と^大梅^大ら^大る^大長^大峯^大湖^大凡^大
 園^大く^大い^大し^大い^大ふ^大梅^大の^大ま^大る^大白^大し
 毛^大さ^大かり^大し^大梅^大の^大林^大ま^大入^大る^大お^大う^大ふ
 椿
 川^大は^大く^大ま^大る^大し^大椿^大の^大標^大く^大る^大
 示鏡
 一翠
 文江
 笑奠
 如毛
 旧國
 衣郷

系及下しふあう 禱のアリノミ 花香塚 花香
里川や舟ちりせしむをつまき 如柝
雨晴のそ下いるあり 赤佐と記 大ミ 芦夕
白つてきぬるまき カメコカ 夔樓

柳

舟よまじし月の柳乃はし 武本庄 活堂
こころを柳いく 吉井 具蝶
さし柳老子けしふ 五ハ 孟川

寺田まじ柳地色し 白素 泉淵
釣日らん 大ハラ 弥角
川河まじ日まき柳 塚 文算
ゆきやまじ下 世横源 寒蟬
雨晴や 大マ 以鳴
遠近入柳 カメコカ 如毛
仮宿 カメコカ 分露
細道 カメコカ 門

一二尺やしきれりさし 柗 多共良 南宗

青やまの厚村の海くまにしき 眠石

年経れを短うぬ糸糸 似鳩

すけいせ星よ柳き柳か 樗良

春日

夜寝せし見や春日の赤波中 龍尾

春の日や夕へ流れ海の舟 半化

春のりじせきさるまふ柳子塚の田 陸船

奉かまをし海師もくる日の衣紋か 出ヨレ 金波

新溜り春の日うけよ下温と人 ナクヌマ 倚流

ゆりやあしきまよと流り川 由水

陽炎

湯もや板木をえくるほるま イセガキ 馬 薫山

かけろよ野鶴よしすか ハナ 由水

湯もや流るまよくるま ハナ 山 春水

のまらやまをえし下石の上 ハナ 吳山

陽をいさむをよまむ〜
 以鳴
 かきうりや人ぬらきさるん水
 百龍
 うけぬるの中り田井振る人の夢
 塩車
 物火やしるもくさくさ大マ 烟し
 雅富
 画師のてをく膠紙
 驕兔
 かけらよぬの松のゆかりきり
 危言

雨段

八重花日暮ていやくあふ
 曉臺

月乃あけしりてさうら
 専車
 山守しるる屋崎の若みり
 龍尾
 下京下しるるまきり牛車
 霜遊
 多法をしるる〜
 榎良
 日陰にかし心山吹りけきか大マ 耳谷
 海原きりふく内をよかま心し上武士 如淀
 ぼ〜
 止鳥
 押ゆるかし山海雨の青舟
 蘭舎

於うきみはされ松子イロキ 由木
 夕イロキ 長イロキ 寸イロキ 小イロキ おとろふ日の光 汝明
 於海中イロキ しかすたる中イロキ 夜イロキ 海イロキ 行イロキ
 お月イロキ かけや 鴨イロキ 啼イロキ く 塚イロキ の 岸イロキ 夜イロキ 涼波イロキ
 山イロキ なやイロキ 寸イロキ 長イロキ の 中イロキ 子イロキ 能イロキ り 夜イロキ 為外イロキ
 夕イロキ 暮イロキ 網イロキ 垂イロキ る 暮イロキ 涼イロキ 中イロキ 以醉イロキ
其間部
 朧夜
 露竹
 露イロキ ぬかイロキ 一イロキ は 旅イロキ を ぬかイロキ る 暮イロキ の ぬき

雨イロキ や 海イロキ 人イロキ の 可イロキ き 日イロキ の 朧イロキ 光イロキ 母谷
 山イロキ 新イロキ き 了イロキ し 路イロキ の 朧イロキ 光イロキ 姨石イロキ
 朧イロキ の 中イロキ 子イロキ 能イロキ り 夜イロキ 專車イロキ

朧月

春ノ月

透イロキ し 寸イロキ 長イロキ や 日イロキ の 朧イロキ の 中イロキ 子イロキ 能イロキ り 夜イロキ 買遠イロキ
 係イロキ 小イロキ の 中イロキ 子イロキ 能イロキ り 夜イロキ 宿二イロキ
 浦里イロキ や 呼イロキ の 朧イロキ 光イロキ 小イロキ 月イロキ 廣水イロキ

きのみりあひ月を照さ空より也 性津 鷺白

神の國をいへる楊子に月を 大 奠千

毎くきふ地ある 一 鏡月 孟川

にゆるく水原に春の月 大田 千秋

春の月を照る地 一 活堂

雪まじのハ 一 曉臺

雪子解

精鶴入り 武ヨコレ 奠大

ちとけてあ オアイマ 和竹

ひま 一 箕角

き 一 河舟

ハスヌマ 嵐黛

武ヨコレ 巴口

焼野

大原 梵鳥

イマリア 信精

高白りの園 雨くすまじ焼の爪
隈のやちやく中の柄ふし湯
宵をたてぬものよめる前うか
之人の川さる會てし流やかさ
芦夕
専車
蘭上
倚流

筆頭菜

積るゆやし物菜続るほくし
解くえんや彦布五やし去筆も
高土筆一八九分と二人かりり
武本庄
全上仁手
額尾
眉年
示鏡

牧亭の謙みかけし筆以菜
又よやいぬれ去筆描見の紅袴
利川
千トセ

スミレ

小原地もををえしふをえぬ原
中屋一や莖の中のだんり
焼芝やしあもるまのもし莖
をふれやし石やうみすの應莖
山原やしほ解きよとこれ子
眉年
雨村
二英
可侯
静賀

を 莖 四 心 の 小 浩 子 締 れ っ し 塩 車
日 の 園 や 嗚 々 (くすくす) 必 志 金 東 波
そ の 花 の や や ち る ぎ き せ し け 大 原 赤 胡
神 領 や 莖 の 上 の ち り ね 魚 大

春 野

そ の 啼 や け ろ ろ の せ せ の 蝶 堂 具 蝶
植 け け 春 の 中 の 濁 り 川 吳 山
春 の 中 や し ぎ ぎ 牛 子 鱒 牛 巢 大

小 さ が ー や ー た ち せ せ せ せ 雨 村
朝 赤 せ せ 出 刀 又 ー ー 春 の せ 色 半 化

春 鳥

強 家 ー ー 奇 き 夫 海 道 の 桃 や ぶ き 専 車
道 道 ー ー ー 春 道 の 田 耕 馬 一 喬
け ろ ぎ ー ー け け け け け け 茶 因

い れ 風

春 風 や 華 々 々 々 大 神 心 眠 石

春風や孫もさきゆく帆立貝

フシチカ

糶車

たる風や只竹原の音のこ

武本庄

素挂

春乃風狂女の髪のおおしうある

義石

いづれか海の中へささるる風

不血川

春のか中 鷗啼くはりし浪

奥淵

春の風や角紐草の片一

下ノ宮

笈木

さる風や秋たぬるふらさし

芝

寒蟬

如月

きさききや越かくるまの

文

ノカヤ

蝶阿

吹く風く星かげさきし

二月かふ

笑奥

二月の硝子唄きつる

花の外

蘭舎

彼岸

ひづるとく印控く里の花女

連

青蒲

依螺のや波のほほむけの

守山里

式ヲカ

祭牛

安楽堂も春や波かんの

もさくら

紫柝

軒のりやまのこころ

とるこころ

鷺白

紅梅

紅梅下粉戸ようりる日の光 魯文

紅梅下夕影まよひの音 眉年

わくわくし初春の雑音く 柳葉 トウネ

梅之戀

梅のこゝろあるまをるもあはれり タカサ 雨竹

梅のこゝろあるまをるもあはれり タカサ 頼尾

内よりとあるまをるもあはれり 東都 素簾

鳥之巢

巢ちりしや茅の香時を啼かす 寒蟬

鳥の巣や留ゆく中は梅塚 オクリ 山孝

鳥の巣や留ゆく中は梅塚 武ラカ 由之

鳥の巣や留ゆく中は梅塚 鬼遊

雀子

雀の巣や一羽もも 五六日 大田 其足

雀の巣や一羽もも 五六日 沛十

きりしやい日乃換本よ雀のこし 大原 白斗

ひくくそよのさゆのみさる 武ヲカ 雨外

西云少雀

ゆゆつこもく雀 帝 やし 帝 涼波

むし里もれしひと 帝 魯火

ささのそく雀 イセサキ 扇風

し鳥

清沙よし イセサキ 蹄香

葉の イセサキ 桐圭

さ イセサキ 落霞

し イセサキ 園李

市 イセサキ 青蒲

う イセサキ 弥角

春鳥

ち 武木庄 鳳山

春の 武木庄 巢大

砂と心と海の人いそと春の
半化
りまを春三日の後の
眠石
曉水細合

雉子

からくと松ちりるときーの
鳥明東都
さるのゆくは雛まゆらん
燕樓
庭をのりまきくすのくーるまの
竹葉
あゝの雛子よるさおぬいよ
示鏡

朝山や薊よとれる雛子の雛
宇大
芳ゆきとゆるきやとーくまは
二英
尾まぶれとなまよけは神尾
龍尾
月影や皂角余よ啼ます
快馬武勅使川原
雲根よみかふる山や雛子の渡
山海信松本
きー啼やある川原の杖草あ務
驕兔
長閑
去来さや啼帆まする物小真
眠石

戦乃や長栄をそとせしめし
驕兔

長栄をそとせしめし
金英

糸遊

糸遊の糸のきくや朝日
交兔

日暮りや糸のきくや
梵鳥

糸遊や鶴のきくや
鶏明

菊苗

菊苗のきくや
買遠

根分せし菊のきくや
李明

蕨

いとたるや蕨のきくや
雲戸

二日月蕨のきくや
驕兔

山のきくや蕨のきくや
竹堂

楮葉

やせ畑の楮葉のきくや
棟宇

道のきくや楮葉のきくや
蘭舎

送芝やしちの秋葉のりるらん ハスヌマ 五雲

桃

枕室も子と極ふし夕夜の日 加陽 焚水

りつろの桃のこころとせ山 龍尾

謙投くさし出まじくのもし 以鳴

篠りすやし草を軒の桃のも 佐別 謂川

もこころも身売ぬかる ホリクキチ 眉角

之入る桃をもつ日 けが 似鳩

柳つる川は顔よき 蘭舎

きりしやみも桃乃小苗之 寒蟬

酒ひむ夕日より サカイマチ 李子喬

花 利川

雛

紙 京 紙 江涯

雛 蘭上

舟 笑奥

えの坐やいやーかきり大出子 茶因
母乃能之月輪 徳子きくんん イセナキ 九牛

出替

おかしりやい 藤花勝あり五之目 祇帖
出かりりも縁くもむのさる外 買遠
ゆき整りのさかりりやや行もく家 惣社 二鴉

汐二

りとかいや召かきりめい汐干龜 ワカイ 里沖

暗おて初のはりこもい カキ 金英
二がのぬるさ之程のはりよ小海老死 衣郷

蜺

きくえかく舟りよるほされふみ 一香筒
捲細やしんろ撰 カカイ 霞岸

蛸

ハマクリ 武ヨコセ
筈首やし厨あつ庭の小たまこ 武ヨコセ 貫古

春あれや日暮さるる白蜩古海 巴江
心も空にそりけり 濼く蜩か 青蒲

海苔口

山寺や海苔焼くせまりの春さの 頼尾
海苔の口しとさひもく神乃浦東郡 山龍
火さたふくはこしとさひもく浦の雨 是化

春芥メ

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

ま市にさるよし集る田中イセリキ 古庭

春市やしむくよふあそく生々み
葛履
毛白乃ぬきしほるをさりし日の光
治堂
炉子そまろし公物之入りし春の節
千トセ

蛙

啼蛙下をさつたりうときか
驕兔
止免と降る市子又啼あつ蛙
雪戸
田中詠やかり月啼や心程下
買遠
啼子啼く蛙や園のまね水
如流

雨それりしはよそととほはか
一喬
あつくりし入には浮む蛙う
陸船
啼のはし夕小田をへく啼蛙
和竹
飛そそ水之政瓜へかそか
青牛

田羸

水波とて更ゆはしとのゆ
武木庄
不白
市人や田少しの蒼ふり
龍尾
桶乃口へ身を流るる田螺
古咄
長又

永きりやゆげはるきよのつれ観 ツカイ 文石

築ふもほく山免下日き永く 大マ 築樓

永き日色小笹のむらさき 大マ 梧山

かかきくもくろく山免下日き永く 大マ 百丈

芽花

あゝ後やし芽のむらさきの練音 利川

雨くまじし芽のむらさきの練音 上武士 花束

永日

菜の花

狐啼くあかきもまきレリ 京 蕪村

海跡の菜の花 京 衣郷

木月之ハナ

みさくらもるまきの月のハナ 京 照石

木月のも月 京 李朝

蝶

川よきる蝶のつとさの力 山傍示堂 雲外

川子連ては十のり川流る蝶
雨村
日よ夕風く花際紫まうる外
園李
襟遠くはよ霞くり小君遠
衣御
中くよさひーのさのさり蝶
鳳山
そるかしのわさゆてふのり流るふ
具足
凡のまよ際おとす中への洲邊
青蒲

蝶之景

棠依るやかくと蝶の正なる
楨尾

もろの露や小くまきあはの露下
涼波

春之麻

茨るれや一麻入る山のせ湯涼し
一高
角おちし麻しゆさ叶ふらん
素麻
春麻や一糸く生しサゆ笑ふ
^{上武士}所石
まきまじし補よまよめる春の流
^{武三}芦葉
舟も底や古も冷いぬく春の麻
専車
隅糸と想ふのまよるのまよしか申
蘭上

春之虫

春の虫 地を這ふ春の虫

論

歌石

雨の日は清きまじりけり

晴

閑路

能く之れを結りゆく柳の三川

女塚

山行

秋虫

らくにけし秋虫まじり

姫うし

武子

馬雨

里乃女がいにこえりつるね

信精

白魚

夕日遠く火し白魚飛走か

宋高

雨夕

白斗月十白くささる

孟川

白斗月十白くささる

白斗

着鮎

遠海原小鮎

鞍堂

着鮎より

柳吉

石川

如柳

美あやかくは川の水清し

雨夕

杏花

かろのやふ葉は別へたる爺、軒 里沖
里つりくや、音子、いへん、
のれも、し、指は、い、さ、草、一、畠 由水

櫻

さう、持、ち、さ、と、人、よ、く、さ、し 眉年
北、山、中、様、も、さ、の、狐 氏 利川
滝、殿、さ、さ、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か 笑泉

さ、さ、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か 武アテリホ ミツ

は、堂、中、し、一、本、様、の、も、る、く、た、さ、さ 下ノ宮 伯雨

妙、境、さ、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か 武本庄 宗祐

町、中、さ、さ、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か 武本庄 買遠

す、の、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か 武本庄 其室

下、中、さ、さ、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か 武本庄 由水

さ、さ、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か 武本庄 梅仙

約、中、さ、さ、り、く、さ、ち、る、家、か、た、か イセリキ 具雪

白おしつゝくまを様とる 衣郷
 めく舟子海山さつしつしまよ 塩車
 山寺子酔くる酒中道 イロハナ 岱雨
 朝軒下きりか山さきら 尾陽 白圓
 宮りい下く日を様とまとも 春水
 山寺戸桜かいまゝ 似鴉
 雲とくまらあまりのさる様 句て山田 宗居

花

夕相おしふりあふりさうらる庭 曉臺
 酔介く醒しつゝおとりのおもむ 卜全
 思くもやん嶮嶮と浮世のむせ日 兵足
 所しとくまらあまりのさる様 武タカシマ 柏葉
 酒酔やし起くさふる月あつ是 頼尾
 ちるもを好るんまをむる庭くまら 武タカシマ 李明
 おりもを大所く終る 征り音 武タカシマ 白太
 竹の岡よんかすふより夕附日 蘭舎

向侍のあきさし花乃く 上武上 文尊

さ月うぬぬさうまにさもの供 吉井 如醉

花と雪しし月又あまのさうさ カ 櫻良

ぬぬるしなをさうさふもの上 東都 蘭上

さかきすかきもの女うま 東都 斗醉

山原のええよふさ酒めむ 東都 買遠

えふさあまのふさ酒めむ 東都 眠石

うぬぬのふさのけ 東都 塩幸

